



事例5 友だちへ送ったメッセージが誤解された

最近、栄子さんはスマートフォンを買ってもらいました。栄子さんは自分用のスマートフォンで友だちと熱心にメッセージのやりとりをするようになりました。栄子さんは、仲の良い友だちとの会話の中でいつも冗談半分で「バッカじゃないの」と言っています。ある時、普段あまり話をしない、よし子さんにメッセージを送信するときに同じように軽い気持ちで「よし子、バッカじゃないの」と書いて送信しました。

メッセージを見たよし子さんは大変腹をたててしまい、二人はそれ以来口をきかなくなってしまいました。

この事例の問題点は……？

■ グループワークで考えてみましょう！

- 文字だけのコミュニケーションでは何に気を付けなければならないでしょうか？
- 相手に誤解を与えないようにするにはどうしたらよいでしょうか？
- メッセージのやり取りから子供が友だちとケンカしてしまった場合、親としてはどうすればよいでしょうか？

■ 親子で話し合うつもりで考えてみましょう！

子供と一緒にこの事例について考えた時、子供から次のようなことを言われた場合どのように対応しますか？

質問例①

子：栄子さんは軽い気持ちで書いただけなのに…よし子さんは、なんで怒るのかな？

親：

質問例②

子：真面目に受け取っちゃったよし子さんの方がいけないんじゃない？

親：

この例のほかにも、子供が質問しそうなこと、相談しそうなことを話し合ってみましょう。

■ 実際に「ルール」を作ってみましょう！

子供が宣言したルールを守れていれば「○」、守れていないときには「×」をつけましょう。

私の宣言書（子供に宣言させましょう）	1週間後	2週間後	
子供の宣言文：私は、メールを書くときには相手の立場を考えて書きます。 約束を守れなかったら、○週間、ケータイをつかいません。			
子供の宣言文：私は、冗談でも相手を傷つけるようなメールは送れません。 約束を守れなかったら、直接あやまりにいきます。			
子供の宣言文：私は、 約束を守れなかったら、			